

## 再評価結果（令和4年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課  
担当課長名：長谷川 朋弘

|   |  |                                |  |           |     |
|---|--|--------------------------------|--|-----------|-----|
| 事業名   | 地域高規格道路 <small>おごおりはぎ</small> 小郡萩道路<br>一般国道490号 <small>えどうはぎ</small> 絵堂萩道路 | 事業区分                           | 一般国道   | 事業主体      | 山口県 |
| 起終点   | 自：山口県美祢市美東町絵堂 <small>みね みとう えどう</small> 至：山口県萩市椿 <small>はぎ つばき</small>     | 延長                             | 15.0km   |           |     |
| 事業概要  |  |                                |  |           |     |
| <p>一般国道490号絵堂萩道路は、県央の交通拠点である山口市小郡と「秋吉台」等の自然環境や、「萩城下町」等の歴史・文化遺産に恵まれた美祢・萩地域を結ぶ高規格道路である小郡萩道路の一部を構成する延長約15kmの道路であり、当該事業は、既に供用している美祢東JCT～絵堂IC間に接続することで、広域交通拠点との連絡強化、県央部と山陰地域との交流促進、観光ネットワークの形成、安全で円滑な交通の確保を図ることを目的として実施するものである。</p>  |  |                                |  |           |     |
| H26年度事業化  |  | 都市計画決定なし                       |  | H28年度用地着手 |     |
|   |  |                                |  | H28年度工事着手 |     |
| 全体事業費   |  | 約390億円                         |  | 事業進捗率     |     |
|   |  |                                |  | 約38%      |     |
|   |  |                                |  | 供用済延長     |     |
|   |  |                                |  | 0km       |     |
| 計画交通量   |  | 11,700台/日～14,400台/日            |  |           |     |
| 費用対効果分析結果   | B/C  | 総費用                            | 総便益  | 基準年       |     |
|   | (事業全体)   |                                |  |           |     |
|   | 1.2  | 174/363億円                      | 419/419億円  | 令和3年      |     |
|   | 2.4  | 事業費：151/340億円<br>維持管理費：23/23億円 | 走行時間短縮便益：360/360億円<br>走行費用減少便益：47/47億円<br>交通事故減少便益：12/12億円 |           |     |
| 感度分析の結果   |  |                                |  |           |     |
| <p>(事業全体) 交通量：B/C=1.0～1.3(交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=2.2～2.7(交通量±10%)<br/>         事業費：B/C=1.1～1.3(事業費±10%) 事業費：B/C=2.2～2.6(事業費±10%)<br/>         事業期間：B/C=1.1～1.2(事業期間±20%) 事業期間：B/C=2.3～2.4(事業期間±20%)</p>   |  |                                |  |           |     |
| 事業の効果等  |  |                                |  |           |     |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・山陰地域と県央部や山陽地域間の移動距離が短縮されるとともに、定時性や安定した走行が確保されることから、以下の効果が期待できる。</li> <li>・観光客がより多くの観光地を訪れることが可能となる。</li> <li>・住民による地域間の交流促進が見込まれる。</li> <li>・物流の効率化により産業の活性化が期待できる。</li> <li>・搬送時間の短縮により、救命率の向上が期待できる。</li> <li>・H8道路防災総点検における要対策箇所を回避することにより、安全な交通が確保される。</li> </ul> |  |                                |  |           |     |
| 関係する地方公共団体等の意見  |  |                                |  |           |     |
| 「萩・小郡間地域高規格道路整備促進同盟会」等から本区間の早期整備の要望がある。   |  |                                |  |           |     |
| 事業評価監視委員会の意見  |  |                                |  |           |     |
| 事業継続を妥当と認める。  |  |                                |  |           |     |
| 事業採択時より、再評価実施時までの周辺環境変化等  |  |                                |  |           |     |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般国道491号（山陰道）長門・俵山道路が令和元年度に開通</li> <li>・一般国道191号（山陰道）木与防災が令和2年度に着工</li> <li>・一般国道491号（山陰道）俵山・豊田道路が令和2年度に着工</li> <li>・一般国道191号（山陰道）益田・田万川道路が令和3年度に事業化</li> <li>・一般国道191号（山陰道）大井・萩道路が令和3年度に事業化</li> </ul>   |  |                                |  |           |     |
| 事業の進捗状況、残事業の内容等   |  |                                |  |           |     |
| 用地取得率：約99%、事業進捗率：約38%   |  |                                |  |           |     |
| 事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等  |  |                                |  |           |     |
| 残る用地取得を継続するとともに、早期開通を目指し、改良工事を推進していく。   |  |                                |  |           |     |

施設の構造や工法の変更等

盛土材の事業間流用、工事用道路の見直し等により、今後もコスト削減を図る。

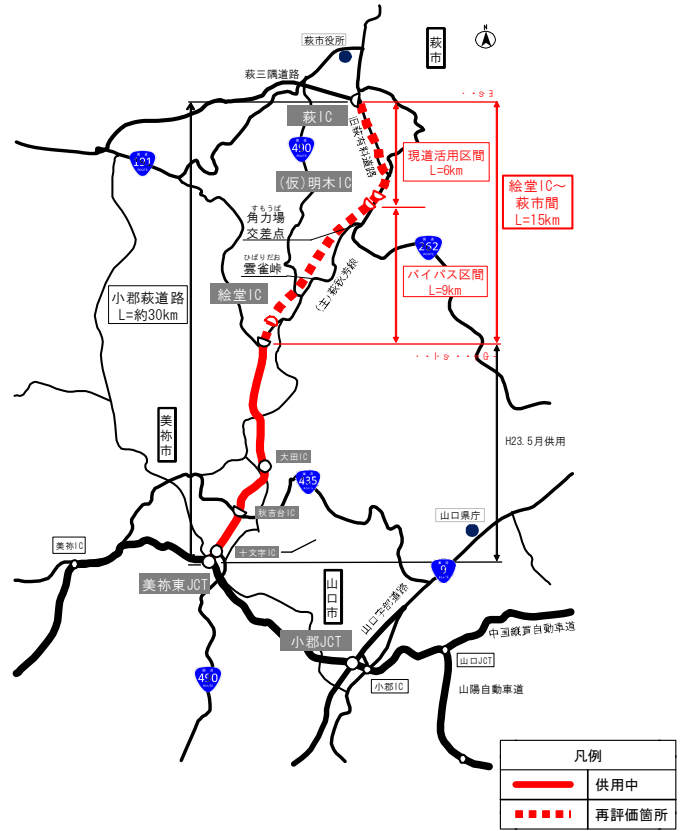
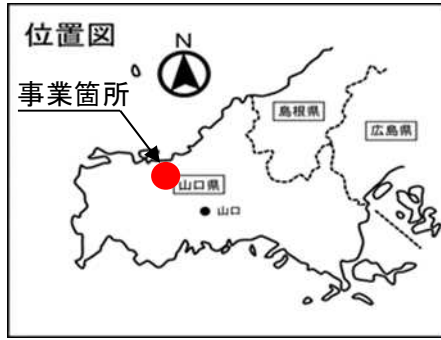
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。